

田舎でカッコよく働くための移住支援マガジン

五城目暮らし Walker

ごじょうめぐらし
ウォーカー

編集・制作 / 株式会社 KADOKAWA

秋田県

五城目町で

「移住実業家」 になる!

先輩「移住実業家」に聞きました!
五城目町に移住してみてもいいですか?

五城目町のエネルギーを生み出す
地域活性化支援センター

年貢を納めて村民になる
シェアビレッジプロジェクト

個性的な取り組みがたくさん
子育て・教育にもうれしい五城目町

朝市と伝統が息づく町

移住・起業したい人の強い味方
五城目町にはこんな支援制度があります

噂の五城目
グルメ
&
五城目町の安らぎ
スポット



PICK UP:

通りを彩るけやき並木

町役場から伸びる通りは初夏の新緑、秋の紅葉と、季節ごとに町を彩るけやき並木が美しい。沿道にはレンガ造りの酒蔵や歴史を感じさせる建築の店舗、土蔵を改装した「五城館」などが並び、散歩にもおすすめ



PICK UP:

豊かな森林資源

秋田杉をはじめとする豊かな森林資源がある五城目町は、木材加工に関わる産業が昔から盛んだ。町の特産品となっている組子細工や五城目筆筒には、そうした職人たちが守ってきた高い技術が今に受け継がれている



PICK UP:

520年続く五城目朝市

1495年、馬場目の地頭・安東五郎季宗が「市神」と書いた八角柱を馬場目村に立てて、そこに市を開いたのが始まりとされる五城目朝市。以来、520年たつ現在も、春は山菜、夏は野菜、秋はキノコなど、地元で採れた四季折々の旬の素材を求めて町内外から人が集いにぎわっている
▶MAP ■ B1-B2



PICK UP:

郷土の味 だまご鍋

だまご鍋は五城目町で古くから食べられてきた郷土料理。ご飯をすりつぶし、丸めた「だまごもち」をセリ、ゴボウ、ネギ、マイタケなどのキノコ類、鶏肉、鶏モツなどと一緒に鶏ダシの汁で煮込んでいる。たくさんの地元食材のおいしさがぎゅっと詰まった逸品だ



PICK UP:

大迫力のネコバリ岩

馬場目川上流、北ノ又地区にあるネコバリ岩。巨岩にフナや杉などの巨木がそびえ立ち、見る人を圧倒する迫力がある。岩にしっかりと根を張るその姿から、頑張れば願いがかなうということ、地元では「ネコバリ精神」と呼んでいる ▶MAP ■ C3



PICK UP:

町のシンボル・森山

誰でも気軽に登ることができる町のシンボル・森山。標高325mの小さな山だが、自然を身近に楽しむことができ、山頂から一望する湖や大湯村、日本海の眺めは絶景だ！ ▶MAP ■ A1

室町時代からの520年の歴史が息づく五城目朝市、町のシンボル・森山や美しい馬場目川、豊富な森林資源から生まれる工芸品…。そうした伝統を継承しながら最近では官民一体となった教育や、町の情報発信、移住者への支援拡充などに積極的に取り組み、移住推進の町としても注目されている秋田県五城目町。豊かな自然や文化はもちろん、町に暮らす一人一人の「人柄」こそが移住を決定する人が増えている理由。そんな五城目町の魅力を紹介しよう。

五城目 Walker CONTENTS

- 04 | 先輩「移住実業家」に聞きました！
五城目町に移住してみてもいいですか？
- 08 | 五城目町のエネルギーを生み出す
地域活性化支援センター
- 10 | 年貢を納めて村民になる
シェアビレッジプロジェクト
- 12 | 個性的な取り組みがたくさん
子育て・教育にもうれしい五城目町
- 14 | 朝市と伝統が息づく町
- 16 | 噂の五城目グルメ
- 18 | 五城目町の安らぎスポット
- 19 | 移住・起業をしたい人の強い味方
五城目町にはこんな支援制度があります

マークの見方

☑️住所 ☎️電話番号 📠フリーダイヤル 🕒時間 📅固定休日 📄図料金
🎉祝祭日 📍交通アクセス 🚏バス停 🪑座席数 🚗駐車場台数 📶JR線

発行／五城目町まちづくり課
編集・制作／株式会社KADOKAWA
編集人／野木原晃一(株式会社KADOKAWA)
編集長／阿部良臣(株式会社KADOKAWA)
取材・文／三浦 亮(株式会社プロデュース・プロ)、村上京子(K planning)
撮影／船橋陽馬

AD・デザイン／細 敬志(株式会社シービジョンズ)
MAP／齋藤直己(アルテコ)
校閲／アドリブ
印刷／大日本印刷株式会社

2016年1月発行
©KADOKAWA CORPORATION 2016

本書の無断複製(コピー、スキャン、デジタル化等)並びに無断複製物の譲渡及び配信は、著作権法上での例外を除き、禁じられています。また本書を代行業者などの第三者に依頼して複製する行為は、たとえ個人や家庭内の利用であっても一切認められておりません。本誌の価格表示はすべて税込み表記となります。弊社掲載記事はすべて2016年1/21 現在のものです。

先輩「移住実業家」に聞きました！ 五城目町に移住してみたいかがですか？

2014年に五城目町に移住した、ハバタク株式会社・丑田俊輔さんと
2015年に移住した株式会社ラウンドテーブル・竹内健二さん。
東京から家族と共に五城目町に移住した2人の先輩に、
移住の経緯や五城目町の魅力について伺った。



No. 1

丑田俊輔さん

学生時代、プラットフォームサービス(株)の立ち上げに参画。東京千代田区の公共施設をリノベーションし、事業の創出や創業者を支援するサービス拠点として再生。その後、IBMビジネス・コンサルティング・サービス(株)(現・日本アイ・ピー・エム(株))にて、グローバル戦略、戦略策定ワークショップ・キャンプの設計・開発・講師などを担当。10年、ハバタク(株)設立。13年12月、ハバタク(株)秋田オフィス設立。秋田県五城目町を拠点にハバタクラボを担当。14年4月、家族も五城目町に移住。夫婦2人と5歳の女の子の3人家族

MAP 1-B3

地域でつながりながら暮らす安心感と豊かさ、
そして地域が輝くビジネス

人と「場」に共感して移住を決意

／丑田俊輔さん

Q 移住の経緯を教えてください

学生時代、350ほどのベンチャー企業やNPO団体がオフィスをシェアする「ちよだプラットフォームスクウェア」の立ち上げに携わったのですが、そこで五城目町のまちづくり課の方と出会ったのが移住のきっかけです。妻が秋田市出身ということもあって移住を考え、13年の夏に初めて五城目町に来ました。そのころちょうど廃校になった小学校を、起業や市民活動にチャレンジする人たちが集まる場所「地域活性化支援センター」にしたいという話があって、すごくいいと思い、そこに入ることにしました。

2 仕事の拠点を五城目町へ移したいかがですか？

私の会社は高校生や大学生の海外留学支援や、学びのプログラムを提供する教育・人材育成を行っています。

3 五城目町の魅力は？

うちの子供は東京にいるころ、1日の中で接するのは両親と保育園の人だけでした。でも、こちらではいろんな大人が面倒を見てくれます。子供がいろんな刺激を受けて、人との関わりを広げていくのはうれしいです。地域の中でつながりながら生きていく感覚はすごく安心感があります。暮らしが豊かになった感じがします。



1,2 ハバタクのオフィスのコンセプトは「プレイフル」。子供たちが気軽に遊びに来られるようにスタッフの本を持ち寄って「ちよとした図書館」のようなオフィスになっている。町の人々のコミュニケーションの場として活用している

地域の課題を発見することから仕事生まれる

地方は大きな可能性を持つビジネスフィールド

秋田オフィスでは、すでにいくつかの地域プロジェクトを立ち上げています。地元の小学校と海外留学生との交流事業「こじょうめで世界一周」や、地域に根差した土着ベンチャー事業を募集する「ドチャペン」。そして、再生させた古民家を活用して地域内外の人々の交流の場とする「シェアビレッジ町村」など、全て地域に関わることです。

私はここに来る前は、100%の時間をお金をつくることに使っていました。しかし、経済的に成熟した社会でみんなが幸せかというと、決してそうではないと感じるようになりました。日本の地方に今も生き残っている、人や里山、地域社会とのつながりといった目に見えないもの、これこそが求められているのではないかと思うようになったのです。

ここでは、地域に長く住んできた人たちの話を丁寧に聞きながら、一緒に何ができるのかを考えることで仕事生まれています。このお金じゃない部分に時間を使うことがよりクリエイティブなものにつながるという感覚を持つことができれば、ここはチャレンジできる格好のフィールドになります。





1 五城目町地域活性化支援センターのオフィスから見た景色 2 ここからの景色を見て五城目町への移住を決意 3 小学校だった教室をそのままオフィスとして活用している。現在、(株)ラウンドテーブル以外に5社が、オフィスとして利用している



住民と移住者が一緒になって頑張る姿にひかれ、「自分も」とだから、もっとここにいる時間が欲しい

／竹内健二さん

2 五城目町への会社の移転を決めたきっかけは？

私は人材教育を通して中小企業を支援する仕事をやっている、14年に株式会社化しました。15年10月に、「地

8月に引っ越しました。

秋田に移住することを決めました。理想の場所を探すにも県内の事情がつかめないため、まずは現地に住んでじっくり探そうと、14年に秋田市に引っ越しました。すると、周囲の方々からよく五城目がいいと勧められたのです。実際に五城目町に行ってみて、その風景に魅了され15年

1 移住の経緯を教えてください

仕事の関係で、4年半ほど前から月に1回秋田に通っていたのですが、私が移住先を探していると知って、そこの方々が「秋田にいい」と誘ってくださったのです。秋田の人は優しいけれどさりげない。適度な距離を保ちながら、困っている時はすぐに手を差し伸べてくれる。そんな方が多いように思います。お人柄に触れて秋田に移住することを決めました。

3 五城目町の魅力は？

馬場目川の上流に映画「釣りキチ三平」のロケが行われた場所があるのですが、とてもきれいです。釣り好きとしては、ぜひそこで釣ってみたいですね。あと、オープンな方が多いところもいいと思います。集落の中で私は若手になりますから、地域の一人として役割を果たして、早く溶け込みたいと思っています。

域活性化支援センター」に会社を移転しましたが手続きの際には、役場の方が二人三脚でサポートしてくださりすごく助かりました。ここは廃校になった小学校を、起業や地域活動をする人たちに事務所として貸し出している施設ですが、移住・起業した人たちが地域おこし協力隊の皆さんがいるいろいろな新しい取り組みをされていて、すごくエネルギーを感じます。それに、センターからの眺めが素晴らしい。この風景を見て五城目町に決めたくらいです。私の場合、得意先に向いてやる仕事が多いのでオフィスにいないことも多いのですが、むしろもっとここにいる時間を確保したいほどです。

おおらかな自然と人間性の中で子育てにゆとり

自然の中で本物の体験をさせるには、ここは最高の環境です。／竹内治子さん

私は、子供は自由に外に出て行って勝手に遊んでくれるのが一番いいと思っています。都会では子供だけが公園で遊んでいたりと心配する方もいらっしゃると思います。確かに危険なことは多いのですが、そうすると子供だけで自発的に遊ぶことがなかなか難しくなってしまう一方、自分も子供にさせなくちゃと人目を気にしてしまう部分もあって、都会では窮屈さを感じていました。だから、主人とは「のびのび子育てができる場所を探したいね」と常々話をしていました。

実際に五城目町で暮らし始めて、最高の環境だと感じています。うちの子が4人。うるさくて近所迷惑にならないか心配でしたが、近所の方は「子供の声が聞こえた方がいい」と言ってくれてくれていいですね。かといって干渉されるわけでもなく、温かいけれど適度にほっておくような距離感は心地いいです。こんな環境で気持ちよく子育てしたい。最近、私はあまり子供を怒らなくなりました(笑)。子供同士の間でも減った感じがします。



五城目町に移住してみたいですか？

先輩「移住実業家」に聞きました！

ここからの景色を見て、オフィスを決めました！



竹内光太郎ちゃん

竹内治子さん

竹内燈真ちゃん

No. 2

竹内健二さん

1997年 慶應義塾大学を卒業し、東京で(株)帝国データバンク入社。2年目から新入社員教育プロジェクトリーダーを務める。その後転職し、組織人事コンサルティング会社にて、教育研修、人事制度構築、中途採用等のコンサルティング業務に従事する。09年、独立してラウンドテーブル設立。中小企業の社員教育、経営者・経営幹部層のパーソナルコーチング、未上場企業の組織・人材マネジメント戦略を行う。14年、秋田市に移住・移転すると共に株式会社化し、(株)ラウンドテーブル設立。15年8月、五城目町に移住。10月には会社を五城目町に移転。夫婦2人と11歳(小学5年生)、7歳(小学2年生)、5歳、2歳の4人の男の子の6人家族

MAP 1-B3

移住、暮らし、子育ての強い味方

地域おこし協力隊の活動を知ろう！

地域おこし協力隊は、地域外の人材を「地域社会の新しい担い手」として受け入れ、地域力の維持・強化を図る取り組み。五城目町では現在、事業創出や移住・定住促進のため、3年の任期で委嘱された4人の隊員が活躍している。アドバイスも受けられるので、移住や起業を考えている人はぜひ相談してみよう！

地域活動を発信する側から実践する側へ転身



移住・定住、観光、教育環境の魅力化担当
石田万梨奈さん

東京大学大学院修了。インターネット動画放送局の設立に携わり、映像記者として活動。その後、神奈川県立地球市民かながわプラザでの広報・イベント担当

ここで学びに興味を持てる塾をやりたい



6次産業、雇用創造担当
柳澤 龍さん

東京大学大学院修了。在学中に利用運行型バスの導入に尽力。学校向けの安全なネット利用監視事業の運営を経て、震災以降、都会での防災減災研修を実施



ごじょうめ朝市大学をサポートしイベントや事業を運営

メディアで発信する立場でしたが、プレイヤーとしてそこに飛び込みたくなり、ここに来ました。学びに関心があり、大人がまちづくりについて学び合う場、「ごじょうめ朝市大学」のサポートをしています。仲間も増えてきて、新しい取り組みもどんどん進めています。



地域の産業をビジネス支援
そのために自らキイチゴを栽培

ベンチャー事業の経験を生かして、キイチゴ生産者や農業法人がビジネスの可能性を広げる手伝いをしています。将来は学びに興味を持てるような塾をここにつくりたいと考えています。大人が仕事を前向きに楽しむ姿を子供に示すことが、広い意味の教育につながるという思いでやっています。

空き家×移住者で地域に化学変化を



空き家、利活用促進担当
小熊隆博さん

京都造形芸術大学大学院修了。大学院在学時、地域の空き家や遊休施設を生かした美術活動をフィールドワーク研究。その後、アートの島、香川県直島で勤務

「起業するなら地方がいい」と家族で移住



子育て・起業支援担当
丑田香澄さん

慶應義塾大学総合政策学部卒業。日本IBMのビジネスコンサルティング部門に勤務。その後、「一般社団法人ドゥーラ協会」を設立



移住者と町の空き家をつなぐ
空き家コーディネーター

15年7月から参加して町の空き家対策を担当しています。町には約400軒の空き家がありますが、その中から使いそうな家を把握し移住者に紹介します。移住してきた人が五城目町で輝けるような面白い反応が生まれる出会いをつくりたいと思っています。



五城目ファン拡大のため
五城目の魅力を発信

任務の中で特に意識して取り組んでいるのは五城目町のファンづくりです。14年度の活性化支援センターの視察者は約3,000人。さらに多くの人に関心を持ってもらうため、広報紙やフェイスブックなどを通して、私たちの目から見た町の魅力やトピックを発信中です。

五城目町のエネルギーを生み出す 地域活性化支援センター



School? Office!

閉校した旧馬場目小学校の校舎を活用し、起業やコミュニティ活動の交流を支援する場として開設した五城目町地域活性化支援センター。通称、BABAME BASE



広い廊下はワークホールとして自由に使用できる



全体に国産材を多く使用した木造建築の建物



小学校ならではの面影がいたるところに残っている



各教室は当時のまま。見渡す限りのデンエンビュー

138年の歴史を持ち、住民から愛され続けてきた馬場目小学校が、13年10月に、地域のエネルギーを生み出す拠点として新たに生まれ変わった。同年3月に閉校した旧馬場目小学校の校舎を活用し、企業のオフィスや、町のコミュニティ活動を行う事業者などを支援する場として開設されたのが、ここ「五城目町地域活性化支援センター」だ。オープンして2年たった現在は、6社の移住・起業家や地元企業が同居。単なる仕事場ではなく、さまざまな業種、個性をもつ人たちが交流したり、時には一緒に仕事をし、刺激し合える場として利用されている。また、地域おこし協力隊（左ページ参照）の活動拠点にもなっており、一般にも公開される勉強会やイベント、地域交流の拠点としても親しまれている。広くて明るい空間が好評だ。

国秋田県南秋田郡五城目町馬場目字蓬内台117-1 ☎018-853-5155 図⑧八郎湯駅から車で約25分 回約40分
MAP B3

「私たちもここで働いています！」

自然しかないから、自然でいられる。田舎の廃校活用オフィス

夢は五城目町の秋葉原化。
ここは何かを生み出す
エネルギーを感じます



周囲の人たちに活気があり
そこから元気がもらえる

通信技術や映像配信、キャラクター制作などの仕事をしています。五城目町は秋葉原のある東京都千代田区と姉妹都市ということで「秋葉原化しよう」と13年に入居しました。2年たちますが、ここは活気があって仕事がかどります。

LLC大町ギルド

キャラクター・コンテンツ事業部マネージャー
佐々木隆浩さん

業態:通信、コンテンツ企画・制作
☎018-853-1650 FAX:018-853-1651
☎www.akita-ohmachi.com/ MAP B3

うちはどっかという堅い仕事。
異業種の人たちとの交流はいい刺激に



静かな環境が精密製造に好都合
県外の得意先からも好評

地元企業の精密金型部門が独立して入居しました。精密加工は振動や気温、水などが製品の質を左右しますが、ここは交通量が少なく静かなので適しています。また、異業種や県外出身の方が多く、多角的な考えを聞いて刺激になります。

株式会社秋田モールド

代表取締役
川口豊和さん

業態:金型製作
☎018-893-4716 FAX:018-893-4726
☎www.akitamold.co.jp/ MAP B3



昔のしつらえそのままに
日本文化を継承する「しつらえ」がシェアビレッジの所々に。日本のおもてなしを体験できる



衣食住できる設備も充実
みんなで楽しく自炊できるスペースからお風呂、トイレ等は最新式のものを用意。安心して宿泊することができる



古民家に
地元の食材。
田舎暮らしの
魅力が伝わった!

年貢を納めて
村民になる

シェアビレッジプロジェクト

「第二の田舎」を求めて築133年の家に、都会の若者が集まってくる。そんなプロジェクトが五城目町に立ち上がった。年貢(年会費)を納めて村民(会員)になった人は、15年3月に寄付の募集を始めてからすでに1100人超！利用する村民は、古民家に宿泊しながらかまどでご飯を炊いたり、古民家の修繕活動をしたり、町の見どころを訪れたり、田舎暮らしを体験できる。また、地域住民との交流の拠点にもなっており、五城目町と都市部をつなぐ新たな窓口として注目だ。

秋田県南秋田郡五城目町馬場目字町村49 ☎080-2834-3208 ☑IN 16:00～20:00 OUT 10:00 ①泊室泊まり大人 ¥3,000、小学生 ¥2,000、幼児(布団あり) ¥1,000、幼児(布団なし) ¥500 ※冬季(11～4月)は灯油代 ¥500 ②部屋 施設利用の場合、午前貸切(9:00～12:00)と午後貸切(13:00～16:00)各 ¥7,500 ③個室 ④宿泊、施設利用は、年会費 ¥3,000 を支払って村民になっていることが条件。「3名以上の団体利用」の場合、代表者が村民であれば利用可能 ⑤☉八郎湯駅から車で約25分 http://sharevillage.jp ▶MAP ①-B2

シェアビレッジ 町村
築133年、茅葺屋根がそのままの状態維持されている。玄関や窓なども、昔のまま使用されている。自然に囲まれているエリアなので、四季折々の風景を楽しむことができる

里帰 SATOGAERI

村民(会員)同士が仲良くなることで生まれるのが、「里帰(SATOGAERI)」。

寄合 YORIAI

「せっかく村民になって年にも何回も田舎に行けないよ」という方のために、村民だけが集まる定期開催飲み会「寄合(YORIAI)」を都市部(東京都、神奈川県など)で開催している。

年貢 NENGU

「年貢(NENGU)」と呼ばれる年会費3,000円を払えば誰でも村民になれる。

グッドデザイン賞受賞
「シェアビレッジ町村」は、ユニークなアイデアやネーミング、具体的な展開イメージなどが総合的に認められて15年グッドデザイン賞のベスト100に選ばれた。さらに、暮らしや産業や社会を推し進め、未来を示唆するデザインと認められ、特別賞も受賞。
◎ 村民代表・高木秀人さんと村長の武田昌大さん

え「15年11月現在、その8割以上が秋田県外に在る。さらにその大半が20～30代だ。茅葺古民家を実際に見たこともないという若者が築133年の家に泊まり、土間のかまどでご飯を炊いたり、地域の食材を使って食事を作ったりする。時には、町の住民との交流も。シェアビレッジは、「第二の田舎を自分たちでつくり上げる」ことに共感し、さまざまなイベントを通じて、村について語り合い、ワクワクしながら田舎を楽しもうというコミュニティとなっている。それと同時に、町を訪れた人が気軽に宿泊しながら地域の暮らしを体験し、地域の人と交流できる場として、町と他地域をつなぐ窓口にもなっている。起業支援の場として活用されている五城目町地域活性化支援センターにも近いので、五城目町への移住やここでの起業を検討している人はぜひ一度訪れてみよう。



④年に一度の「一揆」には全国から村民が集結



⑥昔ならではの囲炉裏がある茶の間

プロジェクトの仕組みは、「年貢」と呼ばれる年会費を払って「村民」になり、毎月都市部で開催される村民限定の定期飲み会「寄合」や、村民同士が仲良くなって村を訪れる「里帰」ツアー、年に一度の村祭り「一揆」などのイベントに参加するというのが。村民の数は1100人を超え、5月、古民家再生プロジェクトがスタートしたのだ。プロジェクトの仕組みは、「年貢」と呼ばれる年会費を払って「村民」になり、毎月都市部で開催される村民限定の定期飲み会「寄合」や、村民同士が仲良くなって村を訪れる「里帰」ツアー、年に一度の村祭り「一揆」などのイベントに参加するというのが。村民の数は1100人を超え、5月、古民家再生プロジェクトがスタートしたのだ。



家守 半田理人さん
五城目町の隣の井川町出身。東京で働いていたときに現・家主(運営担当)の丑田俊輔氏と出会い意気投合。15年5月にハバタク(株)に入社し、家守(管理人)に就任。現在は、家屋や周辺の整備、宿泊受付、地元開催のイベントの企画・運営などを行っている。

五城目第一中学校

町全体で安全安心の「食」を提供します

町立五城目第一中学校
主任学校栄養士 吉原 朋子さん

日本の学校給食

「給食の食べ残しを減らしたい！ そのためにも、身近な地元の食材を子供たちに食べてもらいたい」。そんな思いで、学校給食に力を入れてきました。地元生産者の方々の協力で「五城目エコ・ファーマーズ」が設立され、給食向けの安全で新鮮な米や野菜の仕入れが可能になりました。これによって、地元食材自給率約8割*という給食を実現。食べ残しもほとんどなくなり、14年「地産地消学校給食等メニューコンテスト」では文部科学大臣賞を受賞することができました。食材の安定供給は大変ですが、教室から戻ってきた空っぽの食缶を見ることが、大きなやりがいにつながっていますね。

*カローラーベース



日本の給食に選ばれた「生野菜」が地元食材を提供



「五城目町立五城目第一中学校」
秋田県南秋田郡五城目町高崎字広ヶ野200 ☎018-852-2051 全校生徒数：197名(15年11月1日現在) 〇八郎湯駅から車で約15分
MAP 2-B2

五城目高等学校

地域に携わる活動を通じて自己の確立を目指します

県立五城目高等学校
教諭 江島 尚さん

体験教育と地域参加を重視

「ふるさと絶えぬいのちを育みにけり」と校歌にうたわれる五城目高等学校では、地域に関わる活動や体験教育に力を入れています。町のシンボル、森山の登山や、34回を数える馬場目川のクリーンアップは、地域への愛着や地域を担う自覚、連帯感をはぐくむ行事として欠かせないものです。また、農業や農産物の調理加工、ボランティア活動、地域行事への参加などの体験教育では、生徒たちに自信や積極性が生まれ、今では地域になくはならない存在となっています。進学を希望する生徒への進路指導においては、大学志望者のための指導ノウハウやシステムも整っています。

「秋田県立五城目高等学校」
秋田県南秋田郡五城目町大川西野田屋下100 ☎018-852-2265 〇八郎湯駅から秋田中央交通バスで約10分！五城目高校前から徒歩1分
MAP 2-A2



給食の献立は地元食材を中心としたメニュー。食への関心が高まります。

個性豊かな取り
子育て・教育にも



地元の行事に積極的に参加することで地域への愛着と積極性を学んでいます

五城目町にあるこども園、小学校、地域と関わる行事への参加やボランティア活動も盛んで、高い意識を持っているのが特色だ。に触れる「生きた学習」を通じて、に成長している。



敷地内にある畑では季節ごとにいろいろな野菜を育てて収穫しています(写真は枝豆)

組みがたくさん
うれしい五城目町



国際教養大学の留学生とそれぞれの地域の文化を紹介し合う授業をしています

中学校、高校は各1つずつ。ティア活動への取り組みが盛んで、高い意識を持っているのが特色だ。に触れる「生きた学習」を通じて、に成長している。



認定こども園 もりやまこども園
施設長・園長 石井 正さん

認定こども園 もりやまこども園

木と土に触れながら、「生き抜く力」をはぐくんでほしい

のびのび育つ理想の環境

秋田杉のぬくもりに包まれた明るい園舎。その中央には100m近い長い廊下があり、子供たちが毎日元気に駆け回っています。小さいうちは、足裏の感覚を大事にして欲しいので、床暖房完備の屋内では園児は一年中はだして過ごします。外では、はだしにげた履きが基本です。また、園庭には枝豆、スイカなどを種まきから収穫まで体験できる畑もあり、木と土を存分に肌で感じられる環境で、のびのび育っています。地域行事への参加や、高齢者施設の訪問など、外の人と関わる活動も積極的に取り組んでいます。広い世界に触れながら、園が理念に掲げる「生き抜く力」を着実に身に付けてほしいですね。

「社会福祉法人 キッズハウスもりやま」
秋田県南秋田郡五城目町字羽黒前76-1 ☎018-852-3805 定員：1号認定60名 2・3号認定150名 大川分園20名
保育年齢：生後3カ月後から就学前まで
〇八郎湯駅から車で約12分
MAP 2-B1



園舎は木のぬくもりあふれる明るい造り
開放感ある敷地内で子供たちがのびのび遊べます

五城目小学校

五城目町発「グローバル」交流授業が話題です



町立五城目小学校
教諭 菅原 恵さん

町にいながら世界を学ぶ

五城目小学校は、地域や民間企業との協働を学校経営方針に掲げています。その一環でもあるのが、秋田市にある公立大学・国際教養大学の協力を得て行われている「ごじょうめで世界一周」授業。大学の留学生が自国の文化を子供たちに紹介し、子供たちは五城目町について勉強したことを留学生に紹介してあげるので、東京から移住し、五城目にオフィスを設けたハバタク(株)との協働で実現したこの授業は、世界に触れると同時に地元を見直すという「グローバル」な視点を持った試み。この授業が、将来さまざまな場所へ飛び立つ子供たちの「生きる力」をはぐくむことを期待しています。

「五城目町立五城目小学校」
秋田県南秋田郡五城目町字羽黒前26 ☎018-852-2050 全校児童数：312名(15年7月1日現在) 〇八郎湯駅から車で約12分
MAP 2-B1



陶磁器

自然素材が生み出す柔らかく温かみのある器

三温窯の陶芸家、佐藤秀樹さん



隣接するギャラリーで購入可

五城目町唯一の窯元・三温窯。32年前に窯を構え、本格的な登り窯とギャラリーを併設した工房を持つ。わらや杉、ケヤキなど自然の材料の灰から作る釉薬にこだわった器は、柔らかな色合い。カップや皿などの食器類は、普段使いに最適で、食卓に温もりを与えてくれる。

■三温窯 ■ギャラリー 国秋田県南秋田郡五城目町上樋口字樽沢175 ☎018-852-9028 ☎9:00～18:00 休不定休(12/30～1/3は休み) 回3台(無料) 回⑧八郎湯駅から徒歩約15分 ▶MAP 2-B3



熟練した職人による伝統技術と天然素材を知り尽くした丹念な手作り

五城目箆筒

杉加工で培われた技術の高さが生きる高級たんす

五城目町では1965(昭和40)年ころまで五城目箆筒と呼ばれる杉のたんすが盛んに作られていた。後に大量生産のものが出回るようになると、五城目箆筒は民芸調のたんすに移行。ケヤキと杉の合板で作るこのたんすは、木目や漆の美しさだけでなく、引き出しの出し入れがしやすく高気密の現代の住宅でも狂いがこないと評判に。かつて杉のたんすで培った高い技術が生かされている。

■石井タンス店 国秋田県南秋田郡五城目町字上町261-4 ☎018-852-2040 ☎8:00～19:00 休なし 回3台(無料) 回⑧八郎湯駅から徒歩約12分 ▶MAP 2-B2



江戸時代からの技法を受け継いでいる 御矢師 永澤明久さん

御矢師

戦中疎開した町で 秘伝の技を現代に伝える

弓道の竹矢を作る矢師を指導するのが御矢師。永澤家は代々、仙台の伊達藩で御矢師を受け継いできた家だが、第2次世界大戦中、五城目町に疎開したことをきっかけにこの町で御矢師を務めるようになった。現在は競技、伝統行事などに用いる竹矢を作っているが、繊細で高い技術を要する作業のため、月に40本程度を生産するのが精一杯なのだそう。伊達藩ゆかりの秘伝の技法が、若手にもしっかりと受け継がれている。

■御矢師 永澤繁明 国秋田県南秋田郡五城目町小池字岡本下台105-4 ☎018-852-4743 ☎8:30～17:30 休⑧回 回2台(無料) 回⑧八郎湯駅から徒歩約10分 ▶MAP 2-A1

1ミリほどの細かい木片を組み合わせた一つ一つで作り上げる



秋田県の名工に選ばれた、佐藤 信さん

組子細工

木の風合いと造形美に木の町の伝統が光る

組子細工は主に書院障子や欄間、建具などに用いられる木の装飾。木片を削りだした厚さ1mmほどの木片を、一つ一つピンセットで組立てていく緻密で根気のいる仕事だ。2間幅の4枚屏風を作るときに使われる木片は、なんと約12万本。木ならではの風合いと、さまざまな図案を組み合わせて作られる美しさは、ため息が出るほど。コースターや短冊掛けなど手ごろな小物もある。

■佐藤信建具店 国秋田県南秋田郡五城目町字上町41 ☎018-852-3768 ☎要問い合わせ 休不定休 回なし 回⑧八郎湯駅から徒歩約10分 ▶MAP 2-B2

五城目朝市

県内で最も古く 町民から今も愛される朝市

520年の歴史を持ち、毎月下ひとケタに2・5・7・0がつく日に開催される、五城目朝市。店先には地産の野菜や山菜、漬物のほか、八郎湯で捕れたワカサギやフナなどの珍しい魚介がズラリ。また、季節になると地元で採れた山菜やキノコなども並び、近隣地域からもたくさんの人が集まって町全体がにぎわう。ベテランの売り子さんとなじみのお客さんとのかけ合いも活気があって楽しい!

国秋田県南秋田郡五城目町字下町(朝市通り) ☎018-852-5222(五城目町役場商工振興課) ☎毎月下ひとケタに2・5・7・0がつく日8:00～12:00 回70台以上(無料) 回⑧八郎湯駅から徒歩約10分 ▶MAP 2-B1-B2

若手の売り子さんも出店



季節に合ったお店が並び



地域おこし協力隊 柳澤 龍さん



最近スタートした臨時日曜朝市も注目

520年の歴史を持つ伝統ある朝市の通り。最近では若手も雑貨や服飾を売りに出店する「臨時日曜朝市」もテスト的にスタート



町の指定無形文化財になっている「山内番楽」
残っている12の面のうち、江戸時代に作られたという「三番叟」の面

山内番楽

地域で大切に受け継ぐ 歴史ある地域芸能



山内地区には、500年近い歴史があるといわれる山内番楽がある。番楽は能のもとになった伝統芸能。山内番楽の場合は舞手と囃子に分かれて演じられ、終始飛び跳ねる勇壮な舞が多いのが特徴。表舞いと裏舞い合わせて24番が伝承されている。町の無形民俗文化財に指定され、5月第3日曜日に開催される五城目神明社祭典の前日、五城目番楽競演会で披露されるほか、多くの人に知ってもらうため、イベントなどでも披露している。

■山内番楽保存会 国秋田県南秋田郡五城目町富津内下山内字深堀148(小林方) 開催場所：五城目神明社(秋田県南秋田郡五城目町字神明前115) 開催日：5月第3日曜日(「五城目神明社の祭典」の前日) 回なし 回⑧八郎湯駅から徒歩約10分 ▶MAP 2-A1

上撰 福祿寿(1,800ml) ¥1,982



福祿寿酒造はEDWINとコラボして「白水成」ブランドの前掛けを制作。新しい取り組みにも積極的だ。



年末年始は酒の仕込みの時期。寒い蔵の中には熱気があふれている。2月には新酒を味わうことができるイベントも!

日本酒

「ここにはおいしい酒がある」 町の人から愛されて300年

五城目を代表する酒蔵、福祿寿酒造。1688(元禄元)年創業。300年以上の歴史を持ち、今も、五城目町で「お酒を飲む」と言えば、福祿寿の日本酒を指す。敷地内に湧き出る、秋田県内では珍しい半硬水の仕込み水が特徴。硬水は軟水に比べて調整が難しいとされるが、その水で造られたお酒にはどっしりとした豊かな味わいが。現社長に代替わりし、06年に誕生した「白水成」はANA国際線のファーストクラス機内酒に採用されるほど全国的に人気の銘柄になっている。

■福祿寿酒造 国秋田県南秋田郡五城目町字下町48 ☎018-852-4130 ☎8:00～17:00 ●毎年、2/20ごろに蔵の開放が行われ、見学が可能 回5台(無料) 回⑧八郎湯駅から徒歩約10分 ▶MAP 2-B2

手作業で丁寧に作り上げていく



五城目鍛冶

野かじと呼ばれた伝統を 現代の刃物に受け継ぐ

500年余りの歴史を持つ五城目鍛冶。もともと「野かじ」と呼ばれ、くわや鎌、ナガサなどを作っていたが、現在は包丁やハサミなどの生活道具が増えている。職人は布川さん一人。工程がほとんど手作業のため生産量は少ないものの、確かな品質を求める遠方からの注文も多く、愛好者は着実に広がっているそう。作る物は変わっても、五城目鍛冶の伝統は今もしっかり生きているのだ。

■布川刃物製作所 国秋田県南秋田郡五城目町上樋口字屋岸1-1 ☎018-852-2071 ☎8:30～17:30 休⑧回 回⑧、毎月8.18.28日 回1台(無料) 回⑧八郎湯駅から徒歩約10分 ▶MAP 2-A2

鍛冶職人の布川 滋さん



伝統ある技術ってすごい!

地域おこし協力隊 石田万梨奈さん



キイチゴかりんとう

特製キイチゴソースを塗って焼いた甘酸っぱいかりんとう。ほんのりキイチゴの香り。おみやげにも。

●伊藤菓子店 秋田県五城目町字石田六ヶ村塚澤120-7 ☎018-852-3419 ☎8:00~17:00 休不定休 図 ¥350 図3台(無料) 図⑨八郎湯駅から車で約11分 ▶MAP 2-B1



キイチゴマカロン

鮮やかなピンクがかわいい。マカロンの甘さにキイチゴの酸味がマッチしている。

●菓子処ハチャ 秋田県南秋田郡五城目町神明前76-4 ☎018-852-3629 ☎8:00~20:00 休⑧ 図1個 ¥150 図3台(無料) 図⑨八郎湯駅から車で約10分 ▶MAP 2-B1



木苺最中

キイチゴのジャムと白餡を合わせたハート型最中。キイチゴの種類別に3つの味を楽しむことができる。

●光新堂 秋田県南秋田郡五城目町字鶴ノ木34 五城目バスターミナル内 ☎018-852-3245 ☎9:00~19:00 休全日 図1個 ¥120 休なし 図⑨八郎湯駅から秋田中央交通バスで約10分 ▶五城目バスターミナル内 ▶MAP 2-B2



キイチゴジュース

キイチゴの果実がたっぷり入ったとても濃厚な生ジュース。ビタミンC・Eが豊富で美容にも◎。

●あったか五城目 秋田県南秋田郡五城目町字下町79 ☎018-874-7678 図毎月下ひとケタに2-5-7-0 がつく日の9:00~13:00 図 ¥350 休なし 図⑨八郎湯駅から秋田中央交通バスで約10分 ▶五城目バスターミナルから徒歩4分 ▶MAP 2-B2



キイチゴソフトクリーム

つぶつぶ感を生かしたキイチゴの果肉がたっぷり入っている贅沢なソフトクリーム。

●道の駅五城目 悠紀の国 五城目 秋田県南秋田郡五城目町富津内下山内字上広ヶ野76-1 ☎018-879-8411 ☎9:00~19:00(10~3月は~18:00) 休なし 図 ¥300 図92台(無料) 図⑨八郎湯駅から車で約15分 ▶MAP 2-C1



キイチゴシャーベット

自家製豆乳を加えたキイチゴのシャーベットは酸味を抑えたさっぱりとしたフレッシュな味わい。

●和料理いときん 秋田県南秋田郡五城目町字鶴ノ木90-9 ☎018-852-9855 ☎17:00~23:00(LO 22:30) 休⑧(臨時休業あり) 図 ¥200 図25席 図⑨ 図10台(無料) 図⑨八郎湯駅から秋田中央交通バスで約10分 ▶五城目バスターミナルから徒歩1分 ▶MAP 2-B2



キイチゴメロンパン

濃厚なホイップクリームと、それに負けないキイチゴの力強い味わいが相性抜群。

●あったか小町 秋田県南秋田郡五城目町字下町206 ☎018-852-4848 ☎10:00~18:00(朝市の日は10:00~13:00) 休⑧(朝市の日は13:00まで営業) 図 ¥190 図6席 休⑨ 休なし 図⑨八郎湯駅から秋田中央交通バスで約10分 ▶五城目バスターミナルから徒歩3分 ▶MAP 2-B2



キイチゴサブレ

サブレのバター風味とキイチゴジャムの酸味が絶妙に合うしっとりとした食感。日持ちするのうれしい。

●長栄堂 秋田県南秋田郡五城目町字下町235 ☎018-852-3241 ☎8:00~19:00 休毎月8-18-28日 図 ¥130 図4台(無料) 図⑨八郎湯駅から秋田中央交通バスで約10分 ▶五城目バスターミナルから徒歩1分 ▶MAP 2-B2

五城目キイチゴ研究会の講習会の様子



研究会に入会している佐々木さん一家

時季に合わせて数種類の品種を栽培

五城目キイチゴ研究会

日本一の産地となり、いよいよ首都圏へ!

付加価値が高い果物でありながら国内需要の99%が輸入というキイチゴ。そこに着目して、町の特産品にしようとして設立されたのが五城目キイチゴ研究会だ。現在の会員は41名で、秋田県立大学と産学連携して栽培講習会や商品開発を行っている。そのかいあって、当初400kgだった生産量はこの8年間で2tに拡大。いまや日本一の産地となり、次なる目標は首都圏への出荷だ。これまでキイチゴの生鮮果実は柔らかく長期輸送は難しいとされてきたが、そのための容器も完成し、16年はいよいよ首都圏への出荷が実現する。

おもてなしは、いつも「だまご鍋」!
だまご鍋

「だまご鍋」は、ご飯をつぶして丸めた「だまごもち」と、セリ、ゴボウなどの野菜、キノコを、鶏でダシをとった醤油仕立ての汁で煮込む鍋料理。冬だけでなく新米の時季や人が集まるお盆などに家庭で食べられてきた郷土料理だ。



赤倉山荘



松竹

過去3回開催した「だまご合戦」で1位と2位を分け合っている。「赤倉山荘」と「松竹」

比内地鶏でダシをとったスープが自慢。だまごもち、セリやネギ、白菜などの野菜、マイタケ、鶏モツなどたくさん具材にうどんも入ってボリューム満点の「赤倉山荘」のだまご鍋。最後に、ダシと具材の旨味が凝縮された汁で食べるうどんはおすすめ!

秋田県南秋田郡五城目町富津内中津又滑多羅3-7 ☎018-854-2969 図食堂10:00~14:00(LO13:30) 休年末年始(12/30~1/3) 図だまご鍋1人前 ¥1,240 図24席 休⑨ 図20台以上(無料) 図⑨八郎湯駅から自動車約25分 ▶MAP 2-C1

町の中心部にあり、古くから親しまれている「松竹」のだまご鍋は、時間をかけてじっくりとった地鶏の濃厚な旨味のダシを、甘めの味付けで食べる逸品だ。地鶏の骨と肉をたいた丸めたナタうち団子もコリコリした食感で、やみつきになるおいしさ。

秋田県南秋田郡五城目町下町43-2 ☎018-852-3160 ☎11:00~14:00(LO14:00) 16:00~21:00(LO21:00) 休なし 図だまご鍋1人前 ¥1,750 図82席 休⑨ 図7台(無料) 図⑨八郎湯駅から秋田中央交通バスで約10分 ▶五城目バスターミナルから徒歩2分 ▶MAP 2-B2

昔から愛され続けるグルメ

五城目町ソウルフード

おやき



道の駅 悠紀の国 五城目

朝市でもおなじみのおやき。米粉で作った皮に粒あんを詰めて焼いた、懐かしいおやつ。サクッと焼いた薄めの皮と中にぎゅぎゅ入っているたっぷりのあんこがベストマッチ。

秋田県南秋田郡五城目町富津内下山内字上広ヶ野76-1 ☎018-879-8411 ☎9:00~19:00(10~3月は~18:00) 休なし 図5個入り ¥525 図92台(無料) 図⑨八郎湯駅から車で約15分 ▶MAP 2-C1

揚げサンム



ダイサン五城目店

食パンに甘めのポテトサラダをはさんでカリッと揚げた、五城目町民が子供のころから親しんできたソウルフード的存在の調理パン。変わらぬ人気で売り切れる場合もあり。

秋田県南秋田郡五城目町東蔵ノ目1-6-1 ☎018-852-5101 ☎9:00~19:00 休⑧ 図 ¥138 図100台(無料) 図⑨八郎湯駅から秋田中央交通バスで約10分 ▶五城目バスターミナルから徒歩2分 ▶MAP 2-A2

てんぷら中華



うのき食堂

注文は「てんぷら」でOK。あっさり醤油味のスープに縮れ麺。昔ながらの中華そばにてんぷらがのっておいしい。同エリアに数店舗あり、食べ比べが楽しい。町外からも訪れる人が多い。

秋田県南秋田郡五城目町鶴ノ木15-11 ☎018-852-3226 ☎10:00~18:00(変動あり) 休毎月8日、28日、第3日 図てんぷら中華 ¥550(大盛り ¥650) 図24席 休⑨ 休なし 図⑨八郎湯駅から秋田中央交通バスで約10分 ▶五城目バスターミナルから徒歩1分 ▶MAP 2-B2

移住・起業したい人の強い味方

五城目町にはこんな支援制度があります

No.01 秋田銀行との協定により、五城目町が空き家リフォームローンを補償

五城目町の空き家をリフォーム・修繕する際に、秋田銀行の「空き家リフォームローン(上限200万円)」を利用すると、ローン利率を五城目町が最大15万円まで負担してくれる。これで実質利率ゼロ円に!

【空き家リフォームローンの内容】
融資金額●10万円以上200万円以下(1万円単位) 融資期間●6か月以上5年以内 対象●以下の①～③に該当し、かつ④または⑤に該当する方

【①申込時年齢20歳以上70歳以下(完済時年齢75歳以下) ②継続安定収入のある方 ③居住地・勤務先が秋田銀行の営業区域にある方 ④空き家の所有者が利用する場合 ⑤空き家の借主が利用する場合】

【お問い合わせ先】秋田銀行 五城目支店 ☎018・852・3120

No.02 「あきた創業サポートファンド」で創業予定者&創業間もない企業を支援!

五城目町を含む秋田の7市町村で会社を設立したり、創業間もない企業が新たな事業を立ち上げたりする際に、300～500万円の投資を受けられる「あきた創業サポートファンド」。業種や規模は限定しておらず、女性起業家や若手起業家への支援も積極的に行っている。

【あきたサポートファンドの内容】
投資金額●1社あたり300～500万 投資対象企業●原則として、会社設立予定者、株式会社化から10年以内の企業 投資対象地域●秋田信用金庫営業エリア(秋田市、男鹿市、湯上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村)に本社を置く企業

【お問い合わせ先】秋田信用金庫 五城目支店 ☎018・852・2115

No.03 地域活性化支援センターのオフィスを1カ月2万円で貸りられる!

起業やコミュニティ活動などを行う事業者を支援する場として2013年10月28日に開設された「五城目町地域活性化支援センター」。センター内にある事業支援室を1室2万円(1カ月)で借り、オフィスとして利用できる。

【施設利用の募集要項】
募集施設●五城目町地域活性化支援センター「事業支援室」3室(1室 51㎡～101㎡) 利用料●1室 20,000円(1カ月) 募集要件●①起業等により地域における新たな事業等を創出する方 ②地域産業及びコミュニティ活動の振興に寄与することが期待できる事業を行う方ほか

【お問い合わせ先】五城目町地域活性化支援センター ☎018・853・5155

No.04 新たに農業を始めようとする人への補助金交付制度も充実

五城目町で農業を始めるために必要な技術を身につけようとする人や、新たな技術を身につけようとする農業従事者を、五城目町が支援! 以下の3つの事業に対して、五城目町から補助金が交付される。

【補助金交付の対象事業】
①未来農業のフロンティア育成研修事業●新規就農者の研修に補助金を交付 ②あきたで農業を推進事業●雇用研修を受け入れる農業法人等に補助金を交付 ③農業経営テイクオフ支援事業●新たに農業を始めようとする方に補助金を交付

【問い合わせ先】五城目町役場 農林振興課 ☎018・852・5215

※詳しくは各問い合わせ先までご連絡ください



五城目ファン集まれ!

五城目町の暮らしに関する情報を提供します

コミュニティへの登録・申し込み 五城目町コミュニティ <http://gojomehub.jp>



このサイトでは、五城目の暮らしに関する情報を提供します。また、首都圏の五城目町イベント(五城目町で起業したり働いている方をお呼びしての講演など)の告知も行いますので、チェックしてください! また、サイト内で「五城目HUBメンバー」に登録すると、移住や起業に関する支援措置や、イベントの優先告知など、五城目町に関するご案内や情報が届きます。登録は無料ですので、ぜひご登録ください。

新鮮な山の幸を1,000円で味わう

農家レストラン 清流の森 Farmer's Restaurant

①五城目町の季節の野菜や山菜を楽しむ「清流定食 ¥1,000」



②隣接する古民家を復元したかやぶき屋根の古民家風宿泊施設

③かつては分校だった建物が改装されレストランに。どこか懐かしいようなノスタルジックな雰囲気を感ずることができる



☒秋田県南秋田郡五城目町馬場目蛇喰27 ☎018・853・2577 ☒8:30～17:00 食事は11:00～15:00(L014:30) 休 ☒※冬期(12/1～4月下旬) 休 ☒20席 ☒回約12台 (無料) ☒☒八郎潟駅から車で約30分 >>MAP ■-C3

町を流れる馬場目川の支流にある北ノ又地区は、山間の棚田や畦のそばを流れる清流が美しい自然豊かな場所。映画「釣りキチ三平」のロケ地にもなった、三平の家や、高さ6mもの巨岩に天然の巨木が根を下ろした大迫力のネコバリ岩など、見どころもいっぱい。その景色に溶け込むようにしてたたずんでいるのが農家レストラン「清流の森」だ。

もとは旧杉沢小中学校北ノ又冬季分校だった建物。「この場所を、もう一度人々がにぎやかに集う場所になりたい」という地域の人たちの手によってつくられたレストランで、懐かしく温かい時間が流れている。

メニューは、イワナや季節の野菜、山菜などを味わえる「清流定食」¥1,000、「うどんセット」¥700、地元産の山菜ミックスが入った「森カレー」¥800の3種類。どれも地元の山菜や魚を使っており、五城目町の人たちが慣れ親しんだ郷土の味が楽しめる。と評判だ。

隣には、かやぶき古民家を移築した自炊の宿泊施設「盆城庵」があり、夏は溪流釣りにぎわうなど、町の癒しスポットになっている。

知る人ぞ知る3つの温泉であつたまるう

五城目町の憩いの温泉 Hot Springs



④県中央部では数少ない硫黄温泉

乳白色の本格硫黄温泉で、源泉かけ流し。天然木を贅沢に使用した建物は居心地よく、休憩所、大広間もあつてくつろげる。昔の小学校跡地に建てられた施設で、当時の子供も、同じ温泉を利用していたのだそう。

☒秋田県南秋田郡五城目町内川浅見内後田125-5 ☎018・854・2683 ☒日帰り入浴9:00～20:00 休なし 大人¥400、小人¥200 ☒☒八郎潟駅から車で約25分 回約20台(無料) >>MAP ■-B1



⑤アルカリ性冷鉱泉のつるつるした泉質

古くから湯治宿として知られた滑多羅温泉の源泉を引いたお湯は、アルカリ性冷鉱泉のつるつるとしたお湯で、「肌が見違えるように若返る」という評判がある。宿泊も可能。大広間休憩所、食堂あり。郷土料理だまご鍋も人気。

☒秋田県南秋田郡五城目町富津内中津又滑多羅3-7 ☎018・854・2969 ☒日帰り入浴10:00～18:00 休年末年始(12/30～1/3) 大人¥300、小学生以下¥200 ☒☒八郎潟駅から車で約25分 回20台以上(無料) >>MAP ■-C1



⑥高台の上にある小倉温泉旅館。景色良好

国道285号線から見える高台にあり、古くから小倉地区に湧出するお湯を引いて昭和42年に開業。無色透明の少しぬるぬるのお湯は、切り傷や冷え性に効果があるとされている。宿泊も可能。大広間休憩所あり。

☒秋田県南秋田郡五城目町富津内下山内猿沢24 ☎018・852・2440 ☒日帰り入浴9:00～21:00 休第2※ 大人¥400、小学生¥200、未就学児¥100 ☒☒八郎潟駅から車で約10分 回20台以上(無料) >>MAP ■-C1

五城目お訪ねMAP



飛行機	JR	車
<p>アクセスガイド</p> <p>首都圏から約2時間半 五城目町へのアクセス</p>	<p>羽田 ▶ 秋田 約60分</p> <p>中部国際 ▶ 秋田空港 約80分</p> <p>関西国際 ▶ 秋田空港 約80分</p> <p>※空港から五城目町役場までは、車で約45分(秋田自動車道ほか)。秋田駅まではリムジンバスが運行。</p>	<p>東京 ▶ 五城目 八郎潟IC 約7時間 (東北自動車道・秋田自動車道)</p> <p>五城目 八郎潟IC ▶ 五城目町 役場 約5分</p>